

SGI® OpenGL Vizserver™ 3.3

あらゆるネットワーク、あらゆるプラットフォームを超えた

大規模データセットのハイパフォーマンス・ビジュアライゼーションとマルチサイトコラボレーションを実現

特長

- ・ **リモートデータアクセス**：
データコピーの散在を排除。
- ・ **アプリケーションの透過性**：OpenGL® APIベースのアプリケーションを変更することなく利用可能。
- ・ **コラボレーション機能**：従来使用してきたスタンドアロン型アプリケーションにコラボレーション機能を提供。マルチサイトコラボレーションを実現。
- ・ **マルチOSクライアント**：日常業務で使用しているワークステーション、パーソナルコンピュータ、ワイヤレスタブレットなど、あらゆるクライアントシステムからの、SGI® のグラフィックスシステムの高性能なグラフィックス機能の利用が可能。
- ・ **TCP/IP プロトコルのネットワークを使用**：TCP/IP プロトコルのネットワーク（ワイヤレス通信 IEEE 802.11 もサポート）を利用するため、OpenGL Vizserver用の特殊なネットワークの敷設が不要。
- ・ **ハイパフォーマンス**：スケーラブルなビジュアルサーバとして、SGI® Onyx® ファミリのハードウェア・アクセラレーショングラフィックス機能をマルチユーザで利用。また、Silicon Graphics® ビジュアルワークステーションもパーソナルコラボレーションサーバとして利用可能。
- ・ **ライセンス**：サーバのグラフィックスパイプ数、コラボレーティブセッションに同時参加するクライアント数に応じたスケーラブルなライセンス体系により、充実した使用環境を提供。

大規模データセットと先進ビジュアライゼーションへのユニバーサルアクセス

OpenGL Vizserverは、お手元のデスクトップPCなどから、SGIの持つハイエンドのビジュアライゼーション機能を手軽に利用することができるソフトウェアです。また、通常のデスクトップPCでは実現が難しいボリューム・ビジュアライゼーションなどの高度なレンダリング技術をお手元のPCからインタラクティブに利用することもできます。製造分野におけるデザインレビューや、衝突解析結果の可視化、また離れた場所に分散したチームとの医療研究や石油探査といったシーンにおいて、手軽にビジュアルのコラボレーション環境を構築することができます。OpenGL Vizserverは、インタラクティブでリアルタイムな可視化を実現し、大規模で複雑化していく問題を解決へ導きます。

いつでも、どこでも、自由自在にコラボレーション

OpenGL Vizserverは、サーバとクライアントの2種類のソフトウェアがあります。SGI Onyxファミリ / Silicon Graphics ビジュアルワークステーションにインストールされるものがサーバ・ソフトウェア、そのサーバからビジュアルの供給を受ける側にインストールするのが、クライアント・ソフトウェアです。サーバで可視化処理されたイメージは、OpenGL Vizserverによって遠隔地のクライアントに配信されます。そのため、クライアント側の描画能力に関係なく、高度に可視化されたイメージを見ることができます。クライアントからは、サーバで処理されたビジュアルデータを見るだけでなく、サーバ側のアプリケーションをインタラクティブに操作することも可能です。このOpenGL Vizserverを使用することにより、離れた場所にいる人達の間でも、簡単にビジュアルのコラボレーション環境を構築することができます。例えば、製品デザインを行う場合、日本と海外のデザイナーが最新のデジタルモックアップデータを共有し、インタラクティブにフィードバックをかけあうことを想像してみてください。ビジュアルを共有するということは、まさにこういうことなのです。

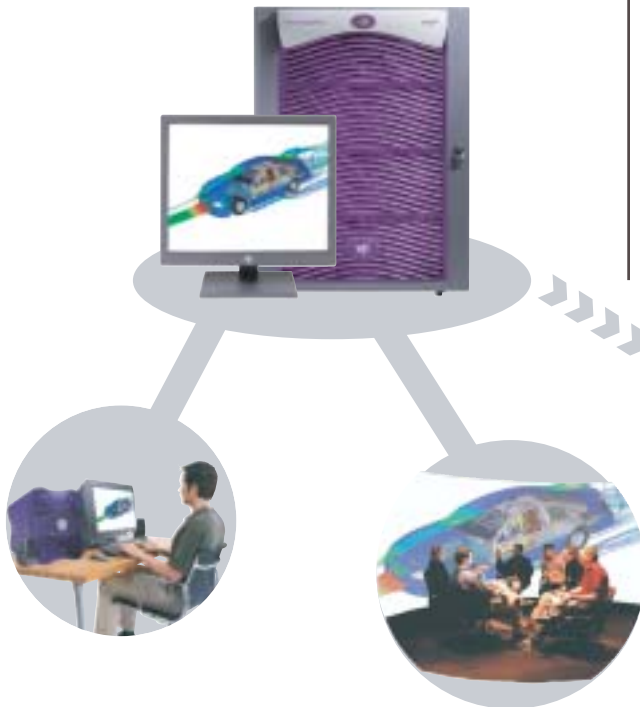
日常業務で使用しているアプリケーションをそのまま利用

OpenGL Vizserverを利用するために、アプリケーションの特別な設定は必要ありません。OpenGL Vizserverのクライアントでは、サーバ側で実行されているアプリケーションが、サーバ側と同じようにそのまま表示されていますが、クライアント側にそのアプリケーションがインストールされているわけではありません。クライアント側にインストールされているのは、OpenGL Vizserverのクライアント・ソフトウェアのみです。また、SGI® Reality Center® で稼働しているマルチパイプアプリケーションを、離れた場所にあるSGI Reality Centerと共有することも可能です。またステレオ立体視もサポートするため、イマーシブなビジュアライゼーションを共有することもできます。まさに、場所やプラットフォームの大小に依存することのない、ビジュアルのコラボレーションが実現します。

所有のデスクトップシステムを利用して経費を削減

OpenGL Vizserverは、Solaris™、Linux®、Windows®、SGI® IRIX® など各種OS搭載のシステムに、SGIのグラフィックスシステムへのリモートアクセスと、コラボレーション機能を提供するソフトウェアです。ワイヤレス携帯端末からSGIのグラフィックスシステムの統合されたビジュアライゼーション、コンピューティング、I/O機能へのアクセスやネットワーク上でのコラボレーティブセッションをも可能にします。OpenGL Vizserverの活用により、重要な事柄を決定する上でより多くの意見や情報入手できるだけでなく、サーバとなるSGIのグラフィックスシステムはグラフィックス、計算、データ集中型アプリケーションなどの、強力なリソースをクライアントシステムへ提供するので、ハイエンドグラフィックス・アプリケーションを利用するためにユーザ個々のデスクトップシステムをアップグレードする必要もなくなります。

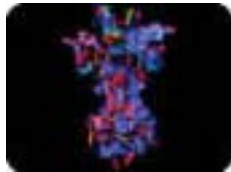
個々のシステムから要求される作業負荷がこの共有サーバの処理能力を超えた時に、初めてアップグレードを検討すればよいのです。



SGI OpenGL Vizserver 3.3



医療分野



科学研究分野



官公庁・防衛分野



製造分野

TCP/IP プロトコルのネットワークを使用

OpenGL Vizserverは、LANやWANなどの広帯域のネットワークを使用して、インタラクティブなアプリケーションパフォーマンスを様々なシステムに提供します。標準のTCP/IPプロトコルを使用し、パケットフィルタリング・ファイアウォールをサポートしているので、高いセキュリティのもとで社内イントラネットやインターネットを介したアプリケーションの利用が可能です。OpenGL Vizserverはインターフレーム圧縮を採用したことにより、クライアントシステムのパフォーマンスが向上しています。特に帯域の狭いネットワーク環境で利用しているユーザにとっては、利便性が向上しました。デスクトップシステムやモバイルユーザにとって、アプリケーション透過なコラボレーションがますます身近なものになりました。

効果的なリソース拡張

利用形態により、サーバシステムを拡張する必要がある場合があります。その場合、SGI OnyxシステムはSGI NUMAflex™ モジュラコンピューティング・アーキテクチャがベースとなっており、システムリソースを柔軟に拡張することが可能です。データをより早くロードしたい、メモリサイズに問題があり早急に解決したい、あるいはより多くのリモートユーザを同時サポートしたい、などの要求は、I/O、メモリ、CPU、グラフィックスパイプなどを適宜追加することで容易に解決します。SGI Onyxファミリシステムは、グラフィックス機

能に優れているだけでなく、ハイパフォーマンスな共有メモリシステムを有する計算サーバとしても活用できるため、組織全体の投資効果を最大化します。

SGI Reality Centerの利用を活性化

SGI Reality Centerは、グループコラボレーションにもっとも適した環境を提供します。SGI Reality Centerがサポートする大規模ディスプレイ、高度なアプリケーション、パワフルなグラフィックス機能により、短時間、低コストで精度の高い意思決定を支援します。OpenGL Vizserverを活用することにより、複数拠点間のSGI Reality Centerでのコラボレーションによる意思決定のサポートや、遠隔地にいる専門家の意見と経営陣のレビューの統合などを実現します。OpenGL Vizserverが、遠隔地からのグループや個人のSGI Reality Centerの利用を活性化することにより、SGI Reality Centerの付加価値もさらに向上します。

強力な実用的、効果的なコラボレーティブソリューション

OpenGL Vizserverは、生産性や洞察力、ROI(投資利益率)を最大限に高めます。また、日常業務で使用しているクライアントシステムとネットワーク環境をシームレスに統合することができます。これによってSGI Onyxシステムのもつ比類ないビジュアライゼーション性能が、いつでも、どこからでも活用可能となるのです。OpenGL Vizserverは、大量のデータを可視化、共有することにより、これまで解決できなかった複雑な問題をリーズナブルに解決する新しいソリューションです。

システム仕様

・サーバシステム	Silicon Graphics Onyx4 UltimateVision、InfinitePerformance™、InfiniteReality® ファミリグラフィックス搭載のSGI Onyxシステム、Silicon Graphics® Tezro™、Silicon Graphics Fuel®、Silicon Graphics® Octane2™、Silicon Graphics® Octane®
・クライアントシステム	IRIX 6.5.11以降のSGI Onyxシステム、Silicon Graphics ビジュアルワークステーション、Solaris 2.5.1以降のSPARC™搭載 SUN™ワークステーション、Microsoft® Windows NT® 4.0、Windows® 2000、Windows® XP、Windows® XP Tablet PC Edition、またはRedHat® Linux6.2以降のIntel® Pentium®III プロセッサ搭載システム * OpenGL Vizserverクライアントは、右記より無償でダウンロード可能です。 http://www.sgi.com/software/vizserver/
・ネットワーク	TCP/IP ネットワーク (1000/100/10Base-TX、ATM、T1、802.11 (a, b, g))
・機能	リモートレンダリング、ビジュアルコラボレーション、Compression API、Reservation API、動的パイプ割付け、フレームスポイリング、パケットフィルタリング・ファイアウォールサポート、ステレオ立体視サポート(Quad-buffer Stereo対応):SGI Onyx system、Silicon Graphics Tezro、Silicon Graphics Fuel、Silicon Graphics Octane2、Silicon Graphics Octane マルチパイプサポート: Silicon Graphics Onyx4 UltimateVision SGI Onyx with InfinitePerformance (最大8パイプ) SGI Onyx with InfiniteReality (最大16パイプ) Silicon Graphics Tezro (最大2パイプ、タワー型は1パイプのみ) デュアルヘッドマルチスクリーンサポート:Silicon Graphics Tezro、Silicon Graphics Octane2、Silicon Graphics Octane コラボレーションモードでは、1グラフィックスパイプにつき、1セッション、ライセンスに応じて複数のローカルまたはリモートのクライアントシステムをサポートし、ユーザ間でアプリケーションコントロールの共有が可能です。マスター・ユーザが許可したクライアントユーザは、セッションへの参加、退出、再参加ができます。複数セッションまたは複数コラボレーションに関する詳細は右記URLをご覧ください。 http://www.sgi.com/software/vizserver/tech_info.html
・ライセンス	フローティングライセンスを採用。同一ネットワーク上にある複数のSGIのグラフィックスシステム間で、ライセンスの有効利用が可能です。

©2004 SGI Japan, Ltd. All rights reserved. 掲載されている内容は、予告なしに変更される場合があります。SGI、OpenGL、Onyx、IRIX、Silicon Graphics、Reality Center、Silicon Graphics Fuel、Octane、InfiniteReality、SGIのキューブ、およびSGIロゴは米Silicon Graphics, Inc.の登録商標です。OpenGL Vizserver、NUMAflex、Tezro、Octane2、InfinitePerformance、およびSource of Innovation and Discoveryは米Silicon Graphics, Inc.の商標です。Microsoft、Windows、およびWindows NTは、Microsoft Corporationの登録商標です。Solaris、SPARC、およびSUNは、Sun Microsystems, Inc.の登録商標です。Linuxは、Linus Torvalds氏の登録商標です。Red Hatは、Red Hat, Inc.の登録商標です。Intelは、Intel Corporationの登録商標です。その他全ての商標、および登録商標は、それぞれの所有者に所有権が属します。Image courtesy of NASA Research Center, MultiGen, Inc., Marc Levoy, Stanford University, Daimler Chrysler Corporation. (05/2004)

日本SGI株式会社

〒150-6031 東京都渋谷区恵比寿4-20-3 恵比寿ガーデンプレイスタワー31階

TEL : 0120-161-086 FAX : 0120-161-087 <http://www.sgi.co.jp>

本社	TEL : 03-5488-1811 (大代表)	FAX : 03-5420-7201
西日本支社	TEL : 06-6343-6700 (代表)	FAX : 06-6343-6713
中部支社	TEL : 0565-35-2561 (代表)	FAX : 0565-35-2189
つくば・東北事業所	TEL : 029-858-1551 (代表)	FAX : 029-858-1071
東北営業所	TEL : 022-221-2301 (代表)	FAX : 022-221-2304
テクニカルサポートセンター 横浜ラーニングセンター	TEL : 045-682-3700 (代表)	FAX : 045-682-0850